

施工説明書

C-22

機能門柱

施工店用
(保管用)

施工店様へ

- 安全上のご注意は、施工前に必ずお読みください。
- 必ずこの施工説明書に従って正しく施工してください。
- 引き渡しの際は、取扱説明書に従って取扱方法を施主様にご説明いただき、取扱説明書は必ず施主様にお渡しください。

安全上のご注意 ※必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◎誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害度を、次の区分で説明しています。 ◎本文中や本体に使われている図記号の意味は以下の通りです。

 警告 「死亡や重傷を負う恐れがある」内容です。	 禁止 「絶対してはいけない」内容です。
 注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある」内容です。	 指示を守る 「実行しなければならない」内容です。

警告

 禁止	■ 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 次のような場所には取り付けしないでください。ケガ・事故・商品破損・感電の原因となります。 ・ 傾斜した場所 ・ 施工強度が確保できない場所 ・ 浴室等の常時湿気のこもる場所 ・ 冠水する恐れのある場所 ・ 通行の妨げとなる場所 ・ 極端に高い場所 ・ 強い振動や衝撃等のある不安定な場所 ・ 火気の近くや高温になる場所 ■ 火気を近づけないでください。ケガ・事故・火災・故障の原因となります。 ■ 隙間や可動部分に手や指等を挟んでケガをしないようご注意ください。
 指示を守る	■ 取付工事は危険を伴う場合がありますので、必ず施工業者等のプロによる施工をお願いします。また、2人以上で作業を行なうようにしてください。 ■ 地下埋設物（給排水管など）に影響が出ないように、取付環境をご確認の上、施工してください。 ■ 商品の施工は、施工説明書に従い行なってください。取り付けに不備があると、ケガ・落下・破損の原因となります。 ■ 配線作業は、必ず電源を切ってから行なってください。感電の原因となります。 ■ 異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、販売店にご相談ください。 (例) ・ 部品の破損がある ・ 異音がする ・ 腐食などによる機能、性能の低下

注意

 禁止	■ 商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。 ■ 商品に傷をつけないようご注意ください。お客様が施工中に破損された場合は、商品の取り替え等の措置は出来かねますので、ご了承ください。
 指示を守る	■ 運搬する際は、商品を引きずらないようにしてください。床にキズがつく場合がございます。また、他の物と商品がぶつからないよう、充分注意して運搬・取り付けを行なってください。 ■ 基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。 ■ 雨水の溜まりを防ぐため、基礎碎石を敷いてください。 ■ 必ず商品の可動範囲内に他商品や突起物が無いよう、取付環境をご確認の上、施工してください。

施工上のご注意 ※必ずお守りください。

- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。運搬・取り付けをする際は保護手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 塗装部分の取り扱いにはご注意ください。塗装部分に関しては金属に焼付塗装を施しておりますので、摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがあります。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じる場合があります。
- 塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますのでご注意ください。ステンレスは錆びに強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありませんので、取付環境には充分ご注意ください。
- 隙間に手や指を入れないよう、ご注意ください。
- 施工時や移動時など手を挟まないようご注意ください。
- L字型プレートを埋め込まないでください。埋め込んだ場合、水抜き穴を塞ぎ本体内部への雨水侵入の原因となります。
- 商品にコンクリートやモルタル等が付着しないよう養生を行ってください。塗料剥がれ・腐食の原因となります。付着した場合は速やかに清掃してください。
- 垂直・水平に施工してください。変形・故障の原因となります。
- ホース等で商品に直接水をかけないでください。各機能に障害が生じる原因となります。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基いた処理をお願いします。

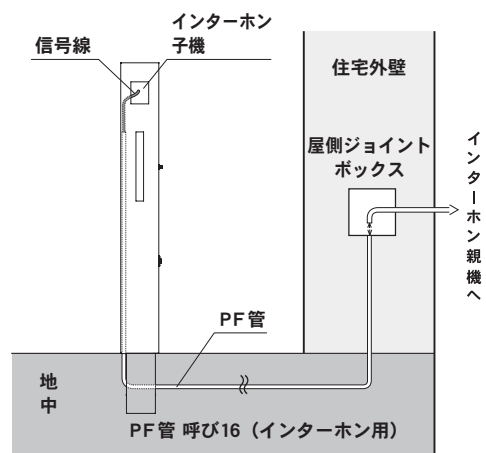
施工される前に ※インターホン取付有りの場合

電気配線工事

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- インターホン用の信号線及びPF管は現地にて手配してください。
 - ・信号線：VCTF0.75mm²より線またはφ1.0mm単線2芯または3芯
 - ・PF管：呼び16
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 機能門柱設置場所へあらかじめPF管を埋設してください。

注意

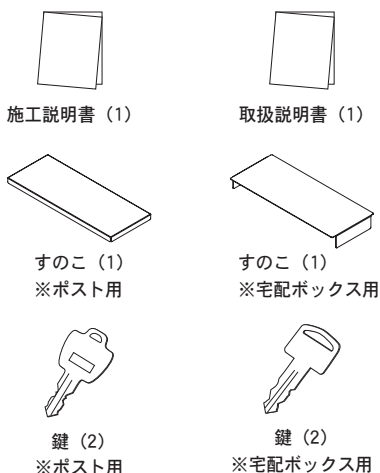
- ❗ PF管埋設工事については、内線規程に従ってください。
- ❗ PF管の中に水が入らないよう、必ず止水処理を行ってください。



※図は右仕様になります。

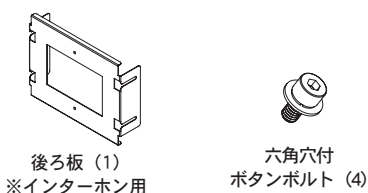
付属品

※不備がないかご確認ください。



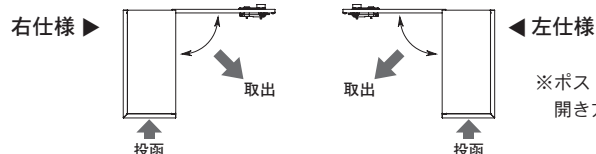
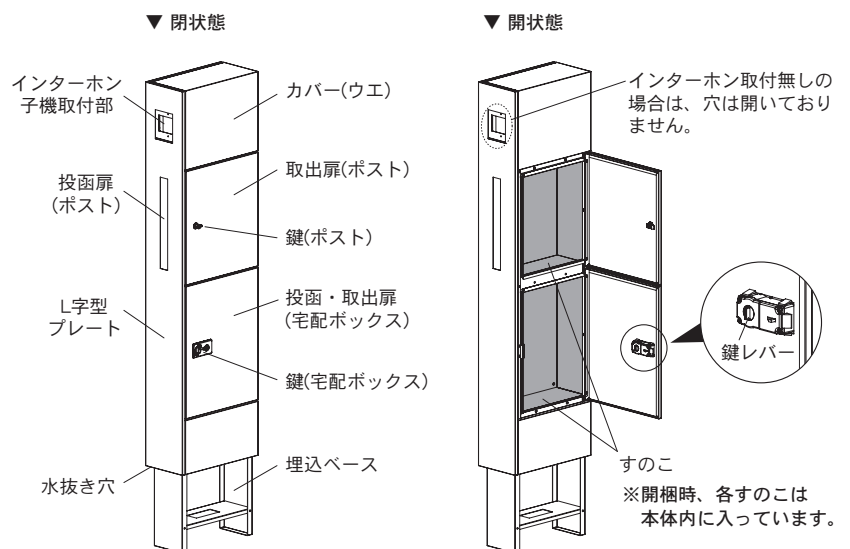
インターホン取付有りの場合

※本商品には、インターホンは含まれておりません。



各部名称

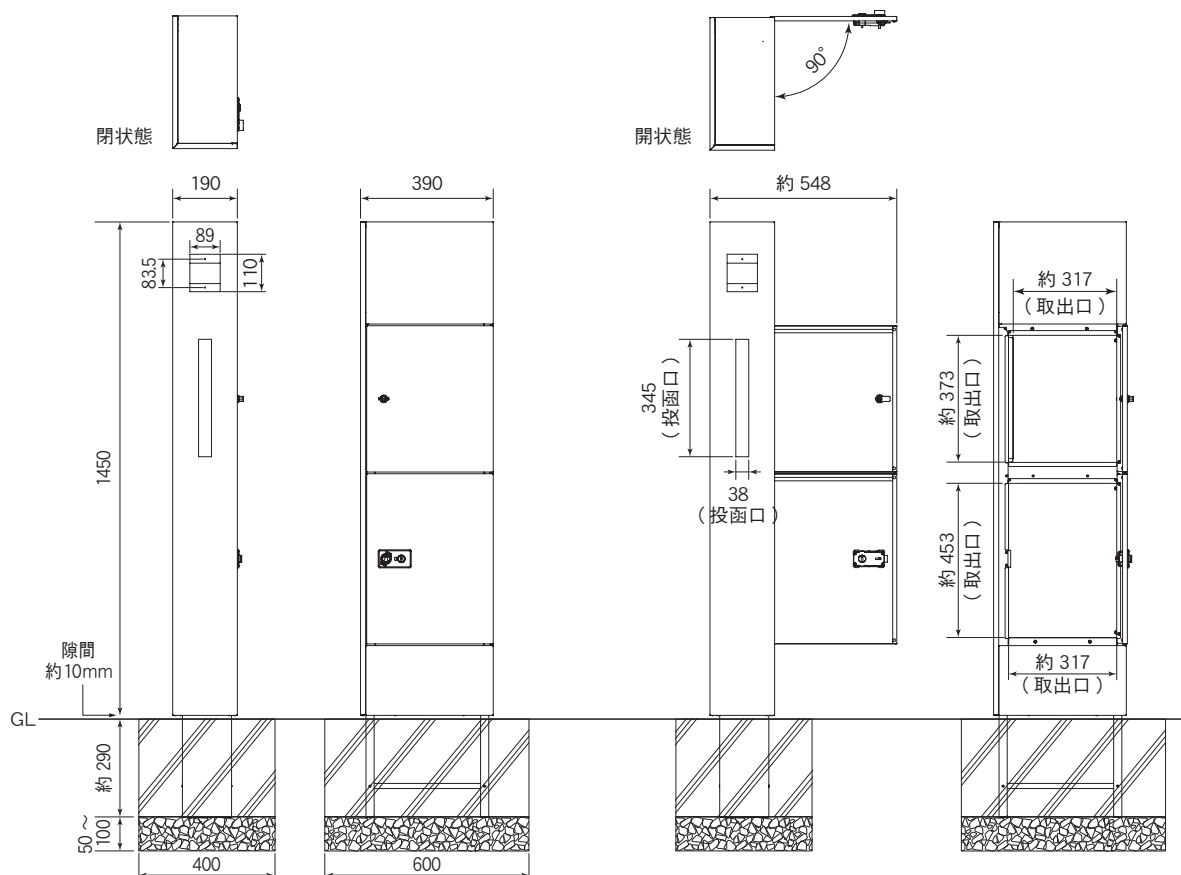
※図はインターホン取付有りの右仕様になります。



※ポスト・宅配ボックスの開き方向の図です。

製品寸法

※図はインターホン取付有り右仕様です。



施工方法 ※ご確認ください。

※インターホン取付無し仕様の場合は **3** をご覧ください。

! 配管（配線）は商品を施工する前に行なってください。

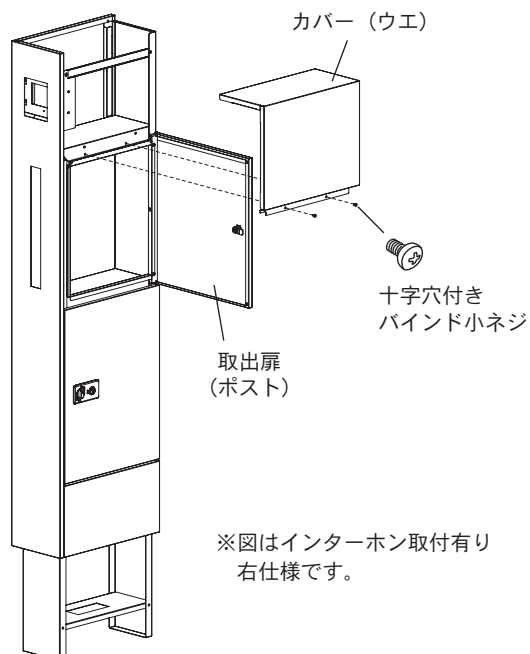
1

【インターホン取付有りの場合のみ】

ポストの取出扉を全開にし、カバー（ウエ）の十字穴付バインド小ネジを緩め、カバー（ウエ）取り外します。
※カバー（ウエ）取り外し後は、ポストの取出扉を閉じてください。

⚠ 注意

- ❶ カバー（ウエ）を取り外す際は、ポストの取出扉を全開にしてください。
ドアを全開にせず取り外そうとした場合、カバー（ウエ）がドア内側に当たりことでキズ・破損の恐れがあります。
- ❷ カバー（ウエ）を取り外す際に、十字穴付きバインド小ネジを無くさないようご注意ください。

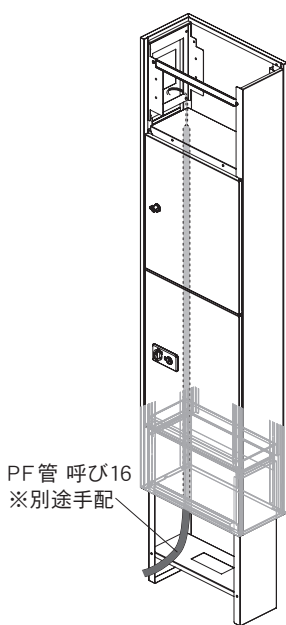


2

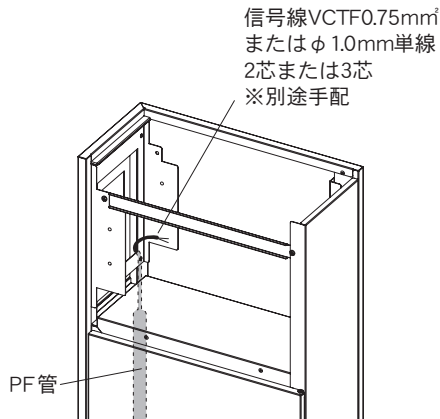
【インターホン取付有りの場合のみ】

機能門柱の本体内部にインターホン信号線を通したPF管を設置します。

- ❶ 右仕様と左仕様とでPF管を通す箇所が異なります。ご注意ください。
- ❷ PF管はG.L.より1100mm程度立ち上げてください。



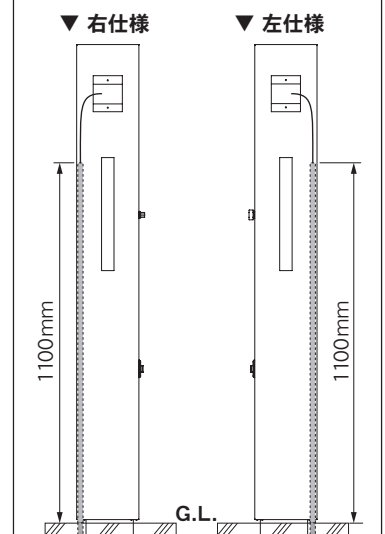
※図はインターホン取付有り
右仕様です。



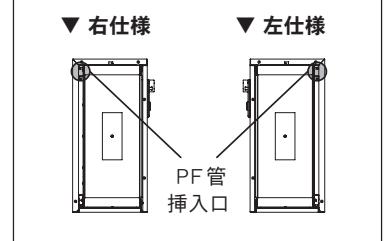
⚠ 注意

- ❶ PF管と信号線を通した後は、支柱内に引き込まれないようどちらもテープなどで固定してください。
- ❷ PF管の中に水が入らないよう、必ず止水処理を行なってください。

PF管 設置位置 (正面図)



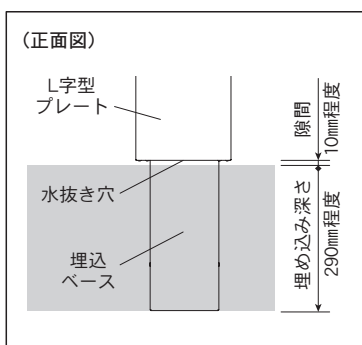
PF管 設置位置 (底面図)



3

【インターホン取付有り・無し 共通】

基礎穴を掘り、本体内部の水溜まり防止の為、必ず碎石を深さ 50~100mm 程度敷きます。機能門柱を支え棒などで自立させ、埋込穴に埋込ベースを設置します。L字プレート部分を埋め込まないよう G.L. より 10mm 程度隙間を設けます。水準器などで水平・垂直を確認し、コンクリートを打設します。



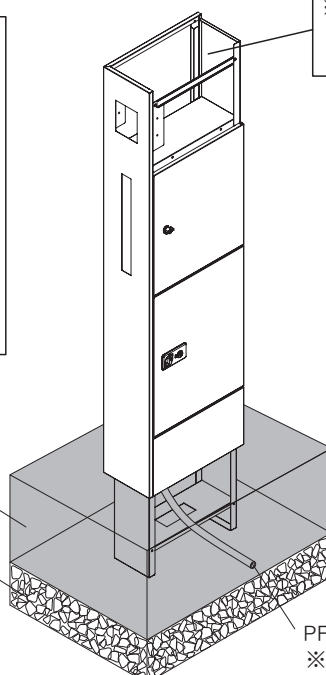
※インターホン取付無しの場合は
カバー (ウエ) を取り外す必要
はありません。

⚠ 注意

- ❶ L字型プレートを埋め込まないでください。
埋め込んだ場合、水抜き穴を塞ぎ本体内部への雨水
侵入の原因となります。
- ❷ コンクリートが硬化するまでは、商品が倒れない
よう添え木等で固定してください。

コンクリート
(W400×H300×D600)

碎石

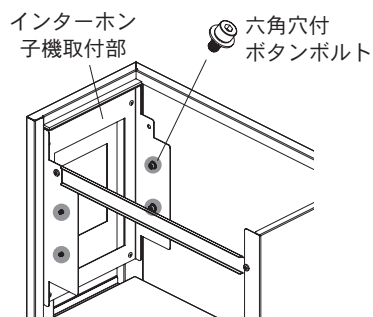


※図はインターホン取付有り
右仕様です。

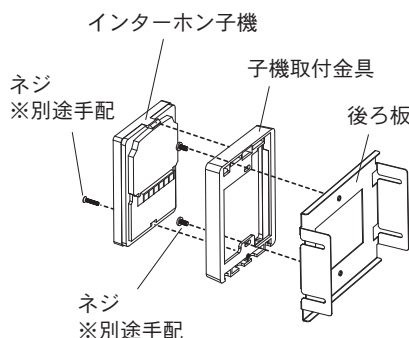
PF管
※インターホン取付有りのみ

【インターホン取付有りの場合のみ】

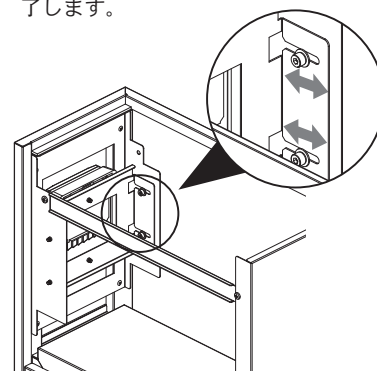
- ① インターホン子機取付部に付属の六角穴付ボタンボルトを内側から仮締めします。
※締め込まないでください。



- ② 付属の後ろ板に子機取付金具及びインターホン子機を取り付けます。



- ③ 仮締めしておいた六角穴付ボタンボルトにスライドさせるように②を取り付けます。後ろ板を前後に動かしインターホン子機の出幅を調整後、配線を完了します。

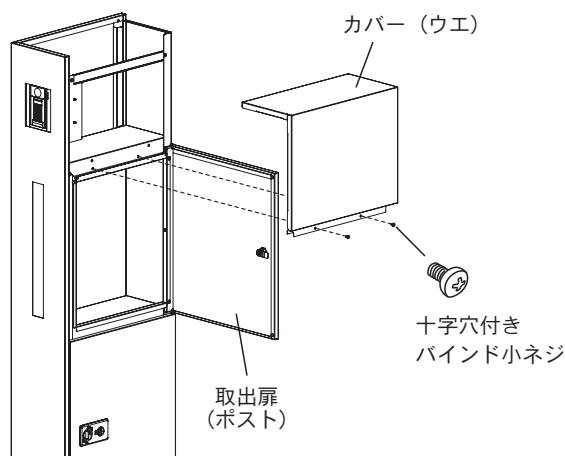


⚠ 注意

- ❗ インターホン子機・子機取付金具は付属しておりませんので、現地にて手配してください。
- ❗ 取付作業の際は、ブレーカーを落として作業を行ってください。通電状態で行なうと感電・破損の原因になります。

【インターホン取付有りの場合のみ】

ポストの取出扉を全開にし、取り外しておいた十字穴付きバインド小ネジでカバー（ウエ）を取り付けます。



⚠ 注意

- ❗ カバー（ウエ）を取り外す際は、ポストの取出扉を全開にしてください。
ドアを全開にせず取り外そうとした場合、カバー（ウエ）がドア内側に当たりことでキズ・破損の恐れがあります。

施工後の確認

- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 各部のネジのゆるみ・ガタツキ等がないかご確認ください。
- 投函扉、取出扉の開閉をご確認ください。
- 梱包時にポスト本体及び宅配ボックス内にテープですのこを固定して発送しています。施工完了後はテープを取り除いてください。
- 施工完了後は施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
- 誤った使用を避けるため、施工完了後は必ず本品に付属されている施工説明書 及び 取扱説明書を施主様にお渡しして、取扱注意・メンテナンスについて説明してください。

❗ ネームオプション貼付方法については、P.6をご覧ください。

ネームオプション貼付方法

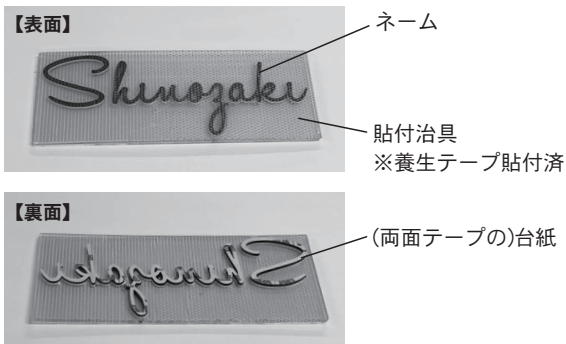
ネームオプションご購入の場合、貼付治具を同梱しています。
※貼付治具にネームをはめ込み、表面に養生テープを貼り付けた状態で出荷しています。

- ❶ ネームオプション貼り付けの際は、必ず下記の手順をよく読んでから貼り付けを行なってください。
取付不備によるネームの落下及び破損につながる恐れがあります。

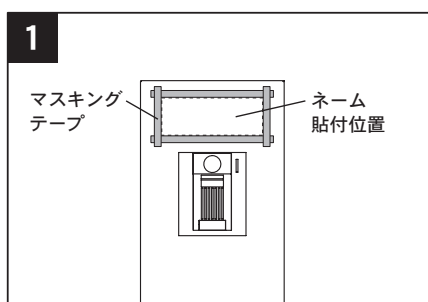
用意するもの

・マスキングテープ ・ピンセット ・スキージー、ヘラ

▼ ネームと貼付治具の状態(一例)

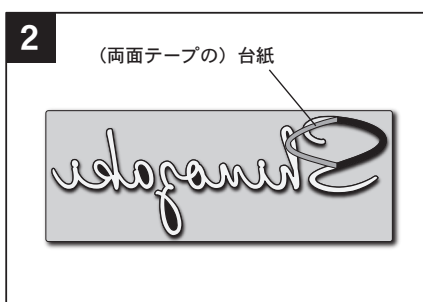


ネームオプション貼り付け手順



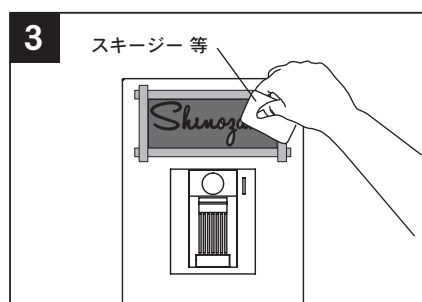
表面の汚れをきれいに拭き取ります。
マスキングテープでネームの貼付位置を決めます。

- ❶ 汚れが残っている場合、ネーム剥がれの原因となります。
❷ 貼付位置を決める際は、養生テープを使用しないでください。
塗装剥がれの原因となります。



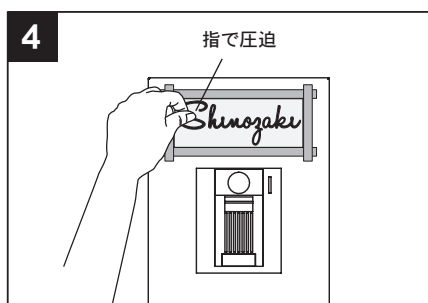
ネーム裏面の(両面テープの)台紙を剥がします。

- ❸ ピンセットなどを使用し、きれいに剥がします。



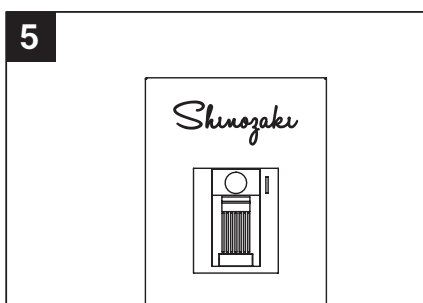
貼付位置にネームを貼り付けます。
スキージー・ヘラ等を使用し、ネーム表面の養生テープ上を滑らせるよう丁寧にこすりつけます。

- ❹ 1文字ごとに圧迫漏れのないよう行なってください。



ネーム表面の養生テープを剥がし、ネーム部を指で圧迫します。

- ❺ ネーム裏面の両面テープをまんべんなく圧着してください。
❻ ここではスキージー・ヘラ等を使用しないでください。ネームにキズがつく恐れがあります。



マスキングテープを剥がし、貼付治具を取り外します。

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。